

(質問)

「活火山」はどのような火山をいうのですか

(回答)

「活火山」とは、三宅島や桜島のように現在も活発な活動が続いている火山のほか、過去に噴火したことがわかっていて、現在の活動が活発でなくても将来噴火する可能性があると思われる火山のことをいいます。

日本では、「火山噴火予知連絡会」が活火山の選定を行っていますが、そこでは「活火山」を「概ね過去1万年以内に噴火した火山及び現在活発な噴気活動のある火山」として定義しています(平成15年1月21日改訂)。

新しい定義に基づく改訂により、21の火山が「活火山」として選定されたため、日本の活火山の数は、従来の86から108(1海底火山を2つに分離独立させたものを含む)となりました。

なお、火山は最も活動的なものでも常に噴火しているのではなく、顕著な噴火は数10か月、数10年、あるいは数100年というような間隔で起きています。

「参考」

平成3年から平成15年1月21日の改訂までは、「過去およそ2000年以内に噴火した火山及び現在活発な噴気活動のある火山」を活火山と定義していました。

(問い合わせ先)

甲府地方気象台、山梨県総務部消防防災課・土木部砂防課

電 話 055-222-9101(甲府地方気象台)
 055-223-1432(山梨県総務部消防防災課)
 055-223-1710(山梨県土木部砂防課)